

3.20  
シンポジウム

# 普天間 いま

## ●日米安保と環境の視点から

現在、鳩山政権にとって最大の“難題”といわれているのが、沖縄の普天間基地問題です。この問題は、沖縄県民だけの問題ではありません。仮に日米安保を容認し、その「抑止力」を必要とすると考えたとしても、負担は日本国民に平等でなければならないでしょう。普天間問題が日米安保体制そのものを脅かすほどの重要性・緊急性を持っているのか、大いに疑



上空から見た宜野湾市（宜野湾市ホームページより）

ってみる必要がありますし、さらには、この問題は、そろそろ冷戦時代の安保条約や「抑止力」という発想から脱却しなければならないことを要請しているといえないでしょうか。

本シンポジウムは、2010年1月に公表された340名の本土の学者・知識人の声明の趣旨を受けつつ、より広く、また深く、普天間をはじめとする沖縄基地問題を考え、議論していく、第一歩として企画したものです。

\* \* \*

発言 加賀乙彦 (作家) 宇沢弘文 (東京大学名誉教授)  
宮本憲一 (大阪市立大学名誉教授) ほか

講演 桜井国俊 (沖縄大学長) 佐藤 学 (沖縄国際大学教授)

パネルディスカッション 桜井国俊・佐藤 学・川瀬光義 (京都府立大学教授)  
司会 遠藤誠治 (成蹊大学教授) 古関彰一 (獨協大学教授) 明田川融 (法政大学沖縄文化研究所)

【日時】2010年3月20日(土) 午後2時～5時(開場午後1時30分)

【会場】法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎6階 薩埵(さった)ホール

【アクセス】JR 総武線市ヶ谷駅・飯田橋駅、都営新宿線市ヶ谷駅、東京メトロ有楽町線市ヶ谷駅または飯田橋駅、東京メトロ東西線飯田橋駅、東京メトロ南北線市ヶ谷駅または飯田橋駅、いずれも徒歩10分

【資料代】500円／【お問い合わせ】futenma.sympo.q@gmail.com／【予約】futenma.sympo@gmail.com

(予約は不要ですが、人数把握のためあらかじめ連絡いただければ幸いです。お名前、連絡先、所属を明記してください)

主催：法政大学沖縄文化研究所・普天間緊急声明呼びかけ人  
(連絡先:03-3264-9393)

日本の選択を考える